

大切な環境を子どもたちへ 今、私たちにできること



希望者には職員が現地に伺い、ミニプラントの使い方や環境問題について説明します

水を汚さず、ごみも減らす
廃食油は石けんに

料理に欠かすことができない油。排水口に流している人はいませんか。廃食油はもろろん食べた残りを排水口に流すことは、河川の汚れる原因につながります。ぜひ可燃ごみとして捨ててください。でもチョットまってください。ごみにするなら廃食油で石けんをつくりませんか。



ミニプラントを使うと廃食油2kgで粉石けんが3.7kgできます

ミニプラントを貸し出しています

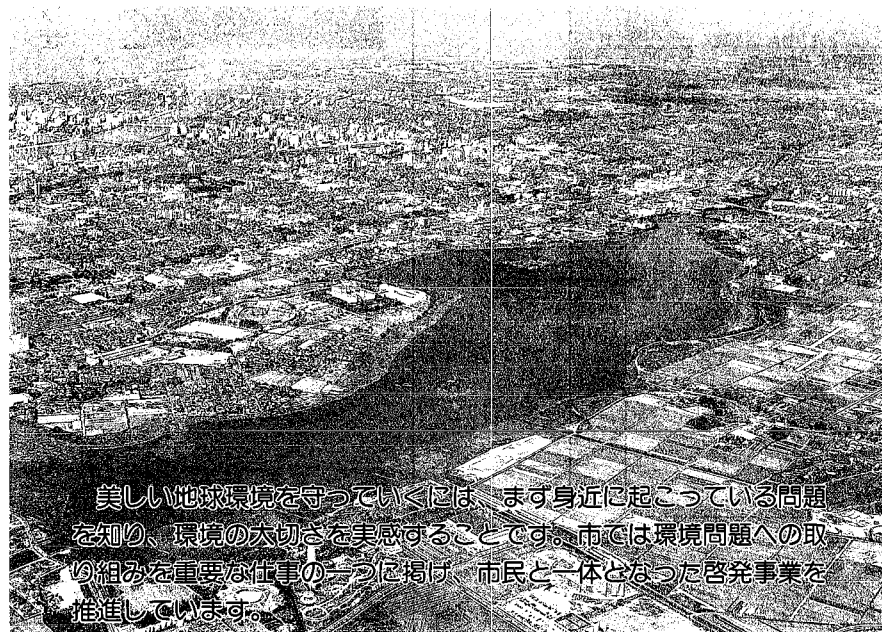
- 貸出対象者
市内在住の市民4人以上のグループ
- 利用申込方法
電話で予約。後に利用申込書を提出
- 申込先 環境対策課



廃食油で作った粉石けんの評判は…



5月は市内に多くの渡り鳥が訪れる時期。毎年行っている市民探鳥会には多くの人が参加し、野鳥や緑を守ることに必要性を感じていました。



美しい地球環境を守っていくには、まず身近に起こっている問題を知り、環境の大切さを実感することです。市では環境問題への取り組みを重要な仕事の一つに掲げ、市民と一体となった啓発事業を推進しています。

人と環境とのかかわりを 自然のすばらしさから学ぶ



夏休みに実施した子ども環境体験学習会では、自然の中に入り込み木々の美しさや中から聞こえる不思議な音の体験など、動物に愛着するゲーム(全)などを楽しみました



身近な環境と触れ合うことで、自然のすばらしさや大切さを知ってもらおうと、毎年5月に西海岸公園や青山地区海岸林で市民探鳥会を、夏休みには子ども環境体験学習会を行っています。参加者たちは、自然の恵みを実感し、人と環境とのかかわり合いの大切さや共存について考えを新たにしていました。



電気自動車も兼用山の環境教育に活躍

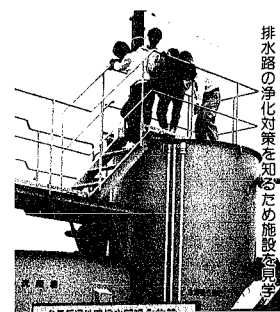
身近な場所から環境の大切さを

小学校で環境教育を実施

人と環境のかかわりを身近な所から子どもたちに知ってもらい、地球にやさしい生活のできる人になつてほしい。そんな願いから紫竹山・木戸小学校では実践的な環境教育の研究を行っています。ここ紫竹山小学校では、学校近くの鳥屋野湯をテーマに、毎週水質検査をしています。児童たちは「水質を検査すると鳥屋野湯の水より、流れ込んでくる排水路の水の方が汚れているし、油なんかも浮いている。これは家庭から出る生活排水が原因と感じ、「これからは水を流すときには気をつけていきたい」と話していました。また、自分たちができることを学校や家庭で話し合おうと、この検査結果を文化祭で発表しました。



きょうはどのくらい汚れているかな



排水路の浄化対策を知るための施設を見学

水質浄化は家庭から

生活排水対策指導員が活躍



中部下水処理場での指導員研修

家庭から出る生活排水が河川の汚れの大きな原因になっています。そこで少しでも汚れを防ぐために、廃食油を可燃ごみとして出すことや三角コーナー・ストレーナーを使って細かいごみを流し口に流さない工夫が必要ですが、まだ生活排水対策を効果的に推進するため、グループ活動をしている人たちのなかから「生活排水対策指導員」をお願ひし、そこで得た体験や知識を地域やグループに広めてもらっています。



「今までは、油や牛乳の残りを流すことが河川や水質浄化の大きな妨げになると漠然と分かっていても、具体的な行動ができなかったと反省しています」「多少の手間やコストがかかるとしても私たち一人ひとりが自覚し実践することが大切だと感じました」